

高円宮牌 2014ホッケー日本リーグ【男子】第4節 第8日

開催日時 11月9日(日) 会場 三成公園ホッケー場 天候 雨

【全試合結果】

第1試合 ----- 10:00	岐阜朝日クラブ	1	$\begin{pmatrix} 1 - 1 \\ 0 - 3 \end{pmatrix}$	4	山梨学院 OCTOBER EAGLES
第2試合 ----- 11:40	立命館大学 ホリーズ	3	$\begin{pmatrix} 3 - 3 \\ 0 - 0 \end{pmatrix}$	3	ALDER 飯能
第3試合 ----- 13:20	福井クラブ	4	$\begin{pmatrix} 3 - 0 \\ 1 - 0 \end{pmatrix}$	0	Selrio島根

【各試合の結果・詳細】

第1試合

岐阜朝日クラブ 1  $\left( \begin{matrix} 1 - 1 \\ 0 - 3 \end{matrix} \right)$  4 山梨学院OCTOBER EAGLES

勝点 8 勝点 9  
2 勝 2 分 4 敗 3 勝 0 分 5 敗

<得点>

岐阜朝日 : 27分武石  
山梨学院 : 34分石川、36分石川、63分四日市、69分伊藤

<戦評>

前半開始早々、前半2分岐阜朝日クラブはPCを取得するが相手GKに阻まれ、得点することが出来ない。一方、前半4分山梨学院OCTOBER EAGLESもPCを取得するがこちらも得点には至らない。その後、一進一退の攻防が続き両チームともチャンスを作るが生かすことが出来ない。前半27分、岐阜朝日はPCを取得し、DF#11福山からのボールをFW#29武石が上手くタッチし先制点を挙げる。前半終了間際の34分、山梨学院は左サイドからFW#17小澤がドリブルで持ち込み、最後はFW#15石川が合わせ1-1の同点とし前半戦を終了した。後半開始早々1分、山梨学院は#15石川が右サイドからキレのあるドリブル突破でGKまでかわし落ち着いて決め逆点に成功した。続けて山梨学院は後半4分、PCを取得するが相手GKに阻まれ追加点を奪うことは出来ない。追いつきたい岐阜朝日は後半21分、サークル内への早い打ち込みからPCを取得するが得点することが出来ない。後半28分、山梨学院はMF#18四日市が豪快なヒットシュートを放ち、追加点を挙げる。点差を詰めた岐阜朝日は相手陣内へ果敢に攻め込むも、山梨学院の守備を崩すことが出来ない。後半終了間際、後半34分山梨学院FW#19伊藤のヒットシュートが決まり、勝利を決定付けた。

テクニカルオフィサー	阿合 勝美	アンパイア	近藤 聡史
ジャッジ	安部 隆史、早戸 淳司		穴井 孟司

第2試合

立命館大学ホリーズ 3  $\left( \begin{matrix} 3 - 3 \\ 0 - 0 \end{matrix} \right)$  3 ALDER飯能

勝点 12 勝点 11  
3 勝 3 分 2 敗 3 勝 2 分 3 敗

<得点>

立命館 : 16分林、28分三浦、35分落合  
飯能 : 8分北里、11分北里、14分北里

<戦評>

前半8分、ALDER飯能FW#11北里がスピードのあるドリブル突破でサークル内へ持ち込み倒れながらもプッシュシュートを決め先制点を挙げる。続けて、前半11分飯能は右サイドからFW#7竹下のパスを受けた#11北里がヒットシュートを決め追加点を挙げる。再び飯能は前半14分、#7竹下からのパスを#11北里がダイレクトで押し込み3点目を挙げる。対する立命館大学ホリーズは前半16分、MF#7林が落ち着いてプッシュシュートを決め、待望の1点目を挙げる。前半24分、立命館大学はPCを取得し、DF#11落合がドラッグシュートを放つが相手GKに阻まれ決めることが出来ない。その後、前半28分、立命館大学は右サイドから打ち込み、GKのクリアボールを拾いFW#17三浦がプッシュシュートを決め追加点を挙げる。前半終了間際35分、立命館大学はPCを取得し、#11落合がドラッグシュートを左下に決め3-3の同点で前半を終了した。後半14分、飯能はPCを取得するが、#11北里のドラッグシュートは相手GKに阻まれる。その後、一進一退の攻防が続き、後半33分にも飯能はPCを取得するが、チャンスを生かすことが出来ない。一方、立命館大学も果敢にサークル内へ攻め込むがシュートまで持ち込めない。結局後半は得点が動かないまま試合は終了し、3-3の引き分けとなった。

テクニカルオフィサー	杉原 治	アンパイア	藤原 信幸
ジャッジ	小櫻 和裕、糸原 嘉一		内田 太

第3試合

福井クラブ 4  $\begin{pmatrix} 3 - 0 \\ 1 - 0 \end{pmatrix}$  0 Selrio島根

勝点 12  
4 勝 0 分 4 敗

勝点 14  
4 勝 2 分 2 敗

<得点>

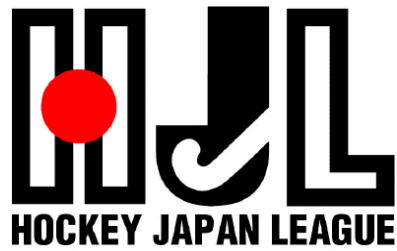
福井 : 20分内藤、24分馬谷、32分渡辺、59分渡辺

島根 :

<戦評>

立ち上がりからやや福井クラブが優位に試合を進める。前半11分、福井#13小林宏がヒットシュートを放つが決めきることが出来ない。前半18分、Selrio島根#4岩田が左サイドからセンタリングを上げるが、得点には至らない。その直後前半20分、福井FW#10三谷元からのパスをFW#11内藤がダイレクトでシュートし先制点を挙げる。続けて前半24分、福井は右サイドから#11内藤が持ち込みパスを受けたMF#22馬谷がスイープシュートを決め追加点とする。勢いに乗る福井はPCを取得するが、島根GK#1和久利のファインセーブにより得点出来ない。前半32分、福井は左サイドからMF#14野村が持ち込み早いパスをFW#7渡辺が綺麗に合わせ突き放す。このまま試合は終了し、前半戦を3-0福井のリードで折り返す。後半開始早々、島根は右サイドからFW#17糸原がセンタリングを上げるがチャンスを生かすことが出来ない。追いつきたい島根はその後果敢に攻め込むが、福井の堅い守備に阻まれ得点することが出来ない。一方、後半24分、福井は左サイドからのセンタリングを#7渡辺が見事なタッチシュートで決め点差を広げる。その後も両者激しい攻防が続いたが、島根は得点することが出来ず、4-0福井の勝利で第4節島根シリーズの幕を閉じた。

テクニカルオフィサー	阿合 勝美	アンパイア	野澤 達
ジャッジ	島 剛史、早戸 淳司		元宗 宏寿



高円宮牌 2014ホッケー日本リーグ【男子】第4節 第9日

開催日時 11月9日(日) 会場 小矢部ホッケー場 天候 雨

【全試合結果】

第1試合 10:00	天理大学ベアーズ	9	$\begin{pmatrix} 4 - 0 \\ 5 - 0 \end{pmatrix}$	0	東京農業大学
第2試合 11:40	名古屋フラーテルホッケーチーム	10	$\begin{pmatrix} 5 - 0 \\ 5 - 0 \end{pmatrix}$	0	法政大学
第3試合 13:20	小矢部RED OX	2	$\begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 1 - 0 \end{pmatrix}$	0	診療印刷

【各試合の結果・詳細】

第1試合

天理大学ベアーズ 9  $\left( \begin{array}{l} 4 - 0 \\ 5 - 0 \end{array} \right)$  0 東京農業大学

勝点 21  
7 勝 0 分 1 敗

勝点 4  
1 勝 1 分 6 敗

<得点>

理大学ベア-：落合、三谷、松村、和久利、橋本、落合、和久利、橋本、和久利

東京農業大学：

<戦評>

第4節小矢部シリーズ2日目第1試合、天理大学ベアーズと東京農業大学との試合は、天理大学のセンターパスにより開始される。序盤から天理大学が運動量を活かした攻撃で試合を優位に進める。前半3分、右からの崩しから#6落合がリバースヒットを左下に決め、天理大学が先制する。その後も天理大学が優位に試合を進め、12分に#7三谷、17分に#4松村、20分に#21和久利が追加点をあげ4-0とする。東農大も個人技で攻め込むも、天理大学の堅い守備に得点をあげられなまま前半戦が終了。後半は東農大のセンターパスにより開始され、お互い攻め込むも得点ができない状況が続くが、徐々に天理大学がペースを掴む。そして48分#12橋本、59分#落合、65分#21和久利、66分#12橋本、69分#21和久利と立て続けに得点をあげて9-0とする。東農大もカウンター攻撃で攻め込むもチャンスを活かせずそのまま試合終了となり、天理大学が9-0で勝利した。

テクニカルオフィサー	松原 和明	アンパイア	木下 英貴
ジャッジ	中村 新樹、吉岡 幸祐		渡邊 道彦

第2試合

名古屋フラーテルホッケーチーム 10  $\left( \begin{array}{l} 5 - 0 \\ 5 - 0 \end{array} \right)$  0 法政大学

勝点 22  
7 勝 1 分 0 敗

勝点 2  
0 勝 2 分 6 敗

<得点>

名古屋：藤本、橘、川上、吉原、小野、長澤、橘、吉原、柳本、橘

<戦評>

小雨が降る中、第4節小矢部シリーズ2日目第2試合、名古屋フラーテルホッケーチームと法政大学との試合が開始される。立ち上がりより名古屋Fが猛攻を仕掛け、6分#17橘が中央より切り込みパス、#9藤本がリバースヒットで豪快に決めて先制。その後も名古屋Fペースで試合が進み、7分#17橘、13分#2川上、19分#12吉原、28分#4小野が決め5-0として前半を折り返す。後半が開始されても名古屋Fのペースで試合が進み、38分PC#14長澤の得点を皮切りに名古屋Fの猛攻が続く。42分、58分、62分、66分と着実に追加点を重ね10-0とする。法政大学も運動量を活かした攻撃で名古屋Fのゴールに迫るも、名古屋Fの堅いDFにより得点ができないまま試合終了となる。終始攻守にわたり試合をリードした名古屋Fが10-0で勝利した。

テクニカルオフィサー	松原 和明	アンパイア	戸塚 洋介
ジャッジ	森嶋 彬、八木 太郎		児玉 茂樹

第3試合

小矢部RED OX 2  $\begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 1 - 0 \end{pmatrix}$  0 診療印刷

勝点 9  
2 勝 3 分 3 敗

勝点 11  
3 勝 2 分 3 敗

<得点>

小矢部 : 高村、河合

:

<戦評>

第4節小矢部シリーズ2日目第3試合、小矢部RED OXと診療印刷との試合は診療印刷のセンターパスにより開始される。両チーム立ち上がりより素早いパス回しより相手陣内に攻め込むも中々決定的なチャンスを作れず試合が進む。徐々に小矢部がペースを握り、28分にPCを獲得するが、診療印刷の攻守に阻まれ得点ができない。前半スコアレスかと思われた33分、小矢部は#9早田光からのスルーパスに#7高村がダイレクトで合わせて先制して前半を終了する。  
後半に入っても、両チーム激しい攻防が続くが中々得点には至らない。診療印刷は#6村田を中心にスピードある攻撃で何度も小矢部陣内に攻め込むも、#13茶木、#6河合を中心とした堅い守備で得点を許さない。そして小矢部は42分カウンターより獲得したPCを#6河合が豪快に決めて2-0とする。その後も両チームチャンスを作るもチャンスを活かせずに試合終了となり、小矢部が2-0で勝利した。

テクニカルオフィサー	真 喜代司	アンパイア	成田 健一
ジャッジ	高橋 美和、東 尚人		高橋 英行